

指定管理者評価票

年度	令和6年度
担当部署	福祉部 高齢者福祉課 高齢者支援係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町高齢者福祉センター寿楽		
所在地	瑞穂町大字殿ヶ谷1106番地		
施設概要	①1階 高齢者在宅サービスセンター、事務室 2階 高齢者福祉センター ②敷地面積 4,979.67㎡ 建築面積 1,240.32㎡ 延床面積 1,827.88㎡ (1階962.21㎡、2階865.67㎡) ③1階 機能回復訓練室、日常動作訓練室外 2階 一般浴室、作業室、図書室外		
設置年月日及び経過年数(導入時)	平成5年12月6日	導入後	20年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人 瑞穂町社会福祉協議会			
	所在地	瑞穂町大字石畑2008番地			
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	選定方法	非公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	高齢者福祉センターが、高齢者の福祉の向上並びに健康の保持増進を図る場であるという設置理念に基づき、効率かつ効果的運営と管理運営費の削減を目的とします。				
指定管理の業務内容	1 高齢者福祉センターの運営に関すること 2 施設及び設備の維持管理に関すること				

3 施設の利用状況

(単位：人)

利用状況(量)を示す指標名	前指定末 令和元年度	指定期間中の実績				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 施設利用者	29,709	11,854	8,104	13,427	9,271	0
②						
③						
④						

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	指定管理料	49,935,000	47,515,305	49,303,000	46,939,000	42,881,000	16,602,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0	0
	その他	11,355,347	9,171,730	6,640,616	11,366,074	18,704,402	9,639,323
	計	61,290,347	56,687,035	55,943,616	58,305,074	61,585,402	26,241,323
支出	支出	58,375,163	52,559,843	54,373,447	52,747,389	46,228,148	28,412,064
	うち修繕費	2,496,182	3,212,045	861,949	1,042,730	495,500	378,565
	うち人件費	28,758,911	28,154,150	28,337,648	29,570,816	26,672,260	17,106,526
	その他	27,120,070	21,193,648	25,173,850	22,133,843	19,060,388	10,926,973

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、パーテーション設置などの環境整備。
	令和3年度	災害時等の福祉避難所設置を見据えてWi-Fi機器設置。
	令和4年度	給湯器の故障に伴い風呂運転を停止。
	令和5年度	大規模改修工事に向けた準備、及び備品整理。
	令和6年度	多世代交流センター開館に向けた備品の移動、保管。
事務改善及び効率化等に 関すること	令和2年度	当該年度は効率化より、感染拡大防止に配慮した事業展開。
	令和3年度	前年度同様、効率化より利用者の安全を優先した事業展開。
	令和4年度	新型コロナウイルスの感染状況に応じた職員の人員配置を実施。
	令和5年度	大規模改修工事に伴う休館で縮小した事業に応じた人員配置。
	令和6年度	大規模改修工事で仮移転した中での事業運営と適切な人員配置。
利用状況に関する こと	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、安全確保のため約2か月休館、事業中止。
	令和3年度	心身機能向上の体操事業、及びデイサービスを週1回の利用とし継続。
	令和4年度	コロナ禍の状況を考慮しながら、文化祭や映画、読み聞かせなどの事業実施。
	令和5年度	感染対策の大幅な緩和に伴い、カラオケ再開、大規模イベント開催。
	令和6年度	デイサービス事業継続と一般高齢者向け講座を提供。

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
算定	指定後	50,188,905	56,859,800	54,772,600	54,798,380	25,482,000
	前指定末（令和元年度）	53,503,400	53,503,400	53,503,400	53,503,400	53,503,400
	比較	-3,314,495	3,356,400	1,269,200	1,294,980	-28,021,400
実経費	指定後	50,013,905	52,640,600	54,597,600	54,623,380	25,307,000
	前指定末（令和元年度）	53,328,400	53,328,400	53,328,400	53,328,400	53,328,400
	比較	-3,314,495	-687,800	1,269,200	1,294,980	-28,021,400

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・ 条例で示した開館日数と実開館日数は適切かなど	3	大規模改修工事のため、ふれあいセンターに仮事務所を設け講座やデイサービス等の事業を実施した。	4	大規模改修工事のため休館となったが、ふれあいセンターに仮事務所を設け、講座やデイサービス等の事業を継続した。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	4	ふれあいセンターや各コミュニティセンターを借りての事業であったが、利用者の安全、衛生、快適さなどに配慮し、事業を行った。	5	仮移転先であるふれあいセンターでの事業で使用した車両等について、必要な場合には適切に維持管理を行った。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	4	協定書、仕様書に基づき、適切に事業実施を行った。ただし、大規模改修工事期間中のため、事業が縮小し指定管理料も減となった。	4	指定管理料については、休館により減額となった。協議により決定し、適切であった。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・ 町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	適宜町職員と協議をし、運営についての調整を行い、1年を通し大きな事故の発生もなく、適正に運営できた。大規模改修工事後に向けた協議、協力も行った。今年度、提供物資はなかった。	5	町職員は、定例会で運営について調整を行った。また、必要な場合は、随時調整を行った。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・ 利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など ・ 利用者の満足度を得られているか。 ・ 職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	規模は縮小したが、計画通り事業実施できた。企画も好評を得ている。職員へは打合せ等で、接遇について指導を行っている。また、大規模改修工事の仮移転先であるふれあいセンターでの事業運営についても、特に問題は生じていない。	4	大規模改修工事に伴い、規模は縮小したが、ふれあいセンターや各コミュニティセンターで計画通りに事業を実施した。アンケートから、事業についてはおおむね満足を得られている。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・ 施設の設置目的を達成しているか など	5	毎月町と連絡会議を実施し、健康づくり、仲間づくりの支援等を確認し、設置目的に向け事業運営を行った。	4	高齢者の健康の保持増進を図るという目的のため、自主グループを支援した。また、ふれあいセンターや各コミュニティセンターで講座等を実施した。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・ 事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・ 営業努力の状況は認められるか など	4	計画された事業は実施され、デイサービスでは機能維持や楽しい集いの場の提供、一般高齢者向け講座でも、趣味、生きがいづくりを、これまでとは違う場所、限られた資源の中で行うことができた。	4	大規模改修工事に伴い、事業規模は縮小したが、ふれあいセンターや各コミュニティセンターで計画通りに事業を実施した。講座によっては、参加費用を徴収した。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・ 経営状況は安定しているか など	4	大規模改修工事で事業が縮小されたことに伴い、それに適した職員の人員配置や事業実施を行い、コンパクトな無駄のない運営を行い、経営状況は安定している。	4	大規模改修工事のため、事業規模は縮小となった。経営状況は安定している。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・ 利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	3	利便性向上については、活動場所を借りた中での事業運営のため限界があった。また、利用者の要望はデイサービスの行事や一般高齢者向け講座の内容に反映させている。	4	講座のテーマを決定する際に、利用者の意見を反映して実施した。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	3	施設の活用も、環境的に限界があった。創意工夫は、ふれあいセンターに協力を仰ぎ、廊下の壁面に季節感ある作品を展示した。デイサービス利用者も喜び、ふれあいセンター利用者も楽しませることができた。	4	ふれあいセンターや各コミュニティセンターで事業を実施した。デイサービス利用者の作品展示や利用者の意見を反映した講座等で創意工夫を行った。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	4	自主事業実施後のアンケート、あるいは普段の利用者とのコミュニケーションの中で、満足度を確認している。	4	自主事業後のアンケートで、満足度を確認している。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	今年度は該当する検査等がなかった。	3	今年度は該当する検査等がなかった。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・ 経費の状況は適正か。など	4	大規模改修の終了に向けて、両者で連携を図り、適宜協議や片付け、備品の移動、整理などを行った。	4	大規模改修工事で休館となり、ふれあいセンターに仮事務所を設け講座やデイサービス等の事業を継続した。指定管理料については、減額となった。